

経営一転語 76 人的資源の投入順序

企業活動を行うにあたって、様々な費用を投入していかなければなりません
が、費用の中にも、「経費」と「投資」があると考えて、お金を使っていくとよ
いでしょう。

これが、お金の使い方は、お金を貯めるより 3 倍難しいといわれている根拠
です。

会計上の経費の中に、「人件費」がありますが、これは「投資にあたるもの」
と考えた方がよいでしょう。

「お金」や「もの」は、100 のものを 100 以上の価値として増幅させるのは困
難ですが、「人」に関しては、100 の力を 200 の力にも、300 の力にも、1000 の
力にも価値を増幅させることが可能なものです。

これほど大事なものですから、人的資源の投入の優先順位には、気をつけね
ばなりません。

人的資源の投入の順序は、

1. 今日の収益を上げるための営業活動、
2. 明日の収益を上げるための開発活動、
3. 供給体制の整備に必要な活動部門への配分

という順序でしなければいけません。

そして、最後に管理活動部門（総務部門）への配分です。

だから、企業においては、管理は「最小限管理」を指向しなければならない
のです。

自分の会社のことを考えてみて、管理部門に人的資源を投入しすぎていない
かどうかです。要らない管理仕事は切り捨てて、収益をあげる部門に投入して
いきましょう。